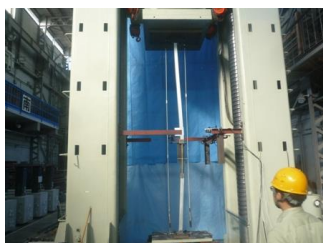


社 報



規格を破れ！

また、失敗しました



昨年から挑戦しています、アルミ製の支柱ですが、11月4日に日本建築総合試験所にて強度試験を行いました。結果、3.5m長で約3トンの荷重で座屈しました。

目標の10トン超えは達成できず、試験は失敗しました。

これに懲りず、新たなアイデアを模索して挑戦します。

ルールや規格は守らなければなりません。あたり前のことですが、このあたり前も、疑ってかかることがあっていいと思うのです。

「ルールは破るためにある。」という言葉があります。誰が言った言葉か、ネットで調べてもわかりませんが、検索していると、ダライ・ラマ(チベットの高僧)が興味深いことを言っておられます。

「ルールを破るために、 ルールを学べ」

ルールは破られるものです。だから、それをどう適切に壊すべきかを知るためにも、ルールを学ぶ必要があるのです。それが処罰を避ける手段でもあります。もし既存のルールがいつまでも疑問視されなければ、我々の文明は停滞したままかもしれません。

もちろん、永遠不変のルールは存在しますし、絶対ルールを変えようということではありません。

私達の身の廻りにある、ルール、

規格は古くから定められたモノも多くあるはずですが。

例えば、この社報の、「また、失敗しました」の記事ですが、現在、現場で使われている資材は、パイプサポートという材料です。パイプサポートの規格が定められたのは、労働安全衛生法によって、昭和47年です。1972年から43年間も、規格が変わらずに、これといった新しい製品も現れず、今日に至っています。それだけパイプサポートの規格が優れているのかも知れませんが、それにしてもと思います。

その間に、社会はどんどん進歩しています。43年前には、ほとんど使われていなかったコンピュータは、今や日用品的な存在です。

なのに、昔から変わっていない物は、結構あるかもしれません。パイプサポートの代用品として、新しい製品を実用化すれば、43年の歴史を打ち壊せるかも知れません。夢のような話ですが、実現すれば、莫大な市場が生まれます。やってみるべし！ です。



当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

仕事にあせりは禁物

12月になり、街はクリスマスモードにあふれ、もうすぐに年末・お正月を迎えようとしています。帰省や旅行の準備に忙しい方もおられるでしょうし、何かと、せわしない時期になりました。

そうした雰囲気の中で、仕事をしていると、「あせり」のような気持が生まれてきます。

各現場とも年末にはここまでやって、切り良くお正月を迎えようと、工程も追い込みがかかるかもしれません。また、日暮れが早いのもこの季節の特徴です。

心の中に、「あせり」の気持ちが生まれると、失敗・事故につながります。今月も事故がありませんように。(拝)

2015年 安全成績

■現場災害 H27.1.1-H27.12.12	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
■交通災害 H27.1.1-H27.12.12	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0